10　家庭

学校番号	1009

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	ﾌｰﾄﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	フードデザイン（教育図書）						
副教材等	フード＆クッキング　レシピ＋成分表　　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇自分を取り巻く食生活ついて関心をもち、積極的に取り組みましょう

・栄養・食品・献立・調理・テーブルコーディネイトなどについて理解を深め知識を身に付けます。多様な考え方を学び、自分と家族の健康を考えることができるようになりましょう。

・調理実習を通して献立の成り立ち、食品について、食品衛生などを学び、基本的な調理技術を身に付け今後の生活に生かせるようにしましょう。

2　学習の到達目標

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートにおいて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	献立作成、調理、テーブルコーディネートに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述、調理計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 調理計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 写真、製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 調理計画、実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期	食生活と健康	・食事の意義と役割 ・食を取り巻く現状	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:健康と食生活につい関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:現在の日本と自分の食生活の課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して食生活について検討する技術を身に付けている。 d:現在の日本と自分の食生活の課題について理解し、自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
	栄養素の働きと食事計画・食品の特徴	・体の仕組みと食べ物 ○5大代栄養素の働き ○食品の特徴と性質 ○調理の基本 ＊＜調理実習＞ 包丁の使い方・野菜の切り方 だしの取り方・味噌汁等 基本的な家庭料理 基本的なお菓子 ○食品の衛生と安全	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:栄養・食品・献立・調理について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 食生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして考え表現している。 c:実習を通して、調理のの基本的な技術を身に付けている。 d:栄養・食品・献立・調理について自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習記録表 レポート 発表 定期考査
	栄養素の働きと食事計画・食品の特徴・料理形式とテーブルコーディネート	○微量栄養素と水、他の栄養素 ・消化と吸収 ○食事摂取基準と食事計画 ○ライフステージと栄養計画 ○食品の生産と流通 ＊食品の選択と表示 ＊＜調理実習＞ 和風献立 中国風献立 洋風献立 自由献立 ○料理形式と献立 ○食育 ＊テーブルコーディネート ＊食品レポート作り	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:栄養・食品・献立・調理について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 食生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして考え表現している。 c:実習を通して、調理のの基本的な技術を身に付けている。 d:栄養・食品・献立・調理について自分の問題として捉えるための知識を身に付けている	授業観察 ワークシート レポート 作品 発表 観察記録表

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。